

ここに注目！



被災地域のにぎわい創出とコミュニティの維持

ポイント

東日本大震災後、復興の足がかりとして設置された仮設商店街。「さいかい」は事業の「再開」、人々の「再会」を意味し、地域の特色を活かしたイベントにより、コミュニティの場を失った被災者の交流の場を創出。

【現状分析及び課題抽出】

Plan

被災地の仮設商店街だからこそ

閑上さいかい市場は、新興住宅地に位置している。付近の仮設住宅及び住宅地の住民に対して主に最寄品を提供しているが、近隣には大手スーパーも多数あり、競合関係にある。

このため閑上さいかい市場は、被災地の仮設商店街であることを逆に強みとし、商店街を利用した団体客に対して無料被災地ガイドを実施するなど、発展的な近隣型商店街として取組を続けている。

しかしながら、震災から3年が経過し来客数も減少しつつあることから、集客力の維持について、引き続き対策が必要である。

【対応策の優位性】

Do

地区の特色を活かしたイベントを開催

閑上地区は長い歴史を持ち、また、生活習慣や言葉など、独特の地域文化が育まれてきた。閑上さいかい市場では、地元で水揚げされる「赤貝」や地元産品の「笹かまぼこ」に関するイベント、震災前における閑上地区固有の食文化「閑上たこ焼き（串刺しのたこ焼き）」の再現イベントなど、定期的に閑上地区の特色を活かした各種イベントを開催している。

当該イベントは、空間的なコミュニティの場を失った被災地の住民にとって交流の場となっているほか、地区外の人客にとっては、地域固有の魅力を感じることができることから、商店街への集客にとって効果的な取組であると言える。

基本データ

閑上さいかい市場振興会
所在地：宮城県名取市美田園
人口：約8万人（名取市）
会員数：29名
店舗数：29店舗（買回品小売店0、最寄品小売店16、飲食店4、サービス店9、その他0）
商店街の類型：近隣型商店街
主な客層：観光客、家族連れ、学生・若者
関連URL：http://natori.in-shoko.com/saikai_ichiba/

商店街概要

東日本大震災からの復興の足がかりとして平成24年2月、宮城県名取市に設置された仮設商店街である。入居する事業者は、同市沿岸部の漁港町であった閑上地区の商店街等で営業を行っていた。東日本大震災で大きな被害を受けながらも、現在は「閑上さいかい市場振興会」を結成し、本格的な復興に向けて営業を続けている。



閑上地区の復興の足がかりとして設置された仮設商店街

【効果の評価及び改善策】

Check-Action

「閑上たこ焼き」の復活！！

毎月最終土曜日に「お買い得市」を開催するほか、閑上地区の特色を活かした各種イベントを実施するなど精力的な取組を続けている。イベント当日は多くの人出で賑わい、集客力の維持に関して一定の効果を

得ている。なかでも閑上さいかい市場のイベントで再現した「閑上たこ焼き」は多くの地域住民から喜ばれ、その後のイベントでの継続実施につながっている。

なお、地域の関係団体「閑上震災を伝える会」の協力のもと、震災ガイドによる集客は年1万人に上る。

【実施体制等】

よそ者・若者の視点で

閑上さいかい市場振興会の事務は名取市商工会の支援により行われており、各種イベントの実施準備や会計処理のサポートが図られている。イベントの実施に当たっては、地域活性化団体や地元及び東京の大学が企画運営に携わることもあり、よそ者・若者の視点を取り入れた事業実施を可能としている。

また、名取市役所では閑上さいかい市場の振興策として震災語り部「閑上震災を伝える会」の立ち上げを支援し、その後も継続的な研修等による語り部の育成支援を行っている。



閑上地区の特色を活かした各種イベントを実施



キーパーソン

閑上さいかい市場振興会
会長 相澤 信幸



被災者の交流の場としても

「閑上さいかい市場」は、東日本大震災で被災した名取市閑上地区における被災事業者を中心に、現在29事業者が入居しています。中小企業基盤整備機構に整備していただき、平成24年2月にグランドオープンを果たしましたが、現在でも飲食業をはじめ、水産加工業や釣具店など様々な業種の事業者が本設までの間、事業再建に鋭意取り組んでいます。

この「閑上さいかい市場」の名前にもある「さいかい」には、事業の「再開」という意味のほか、お客様同士がここで再び会えるという「再会」という意味も込められています。実際、被災前に閑上で生活されていたお客様同士が閑上さいかい市場のイベント時に再会されているようです。

このように被災者の方々の交流の場としての機能も果たしていることに喜びも感じております。

現地再建に向けて

入居事業者は、被災前はそのほとんどが個人事業者だったため、共同店舗での営業に戸惑うこともあり苦労もしました。しかし、多くのご支援、例えば、「閑上さいかい市場振興会」という組織の運営は、名取市商工会による強力なサポートがあり、また、さまざまなイベント時に必要なマンパワーは学生ボランティアさんによるご協力もありました。このように皆様のご支援ご協力により、この閑上さいかい市場は成り立っています。本当にありがたいことです。

今後、閑上における現地再建という大きな課題があり、入居事業者にとってはこれからが正念場で、自立が求められるところです。どういう形で本設を果たすか難しいところですが、これまでいただいたたくさんのご支援や激励を忘れることなく、すべての入居事業者が再建を果たし、ここ「閑上さいかい市場」を卒業したいと考えています。